

社協 おうたき

第

76

号

令和 3年 7月15日 発行

社会福祉法人

王滝村社会福祉協議会

〒397-0201

長野県木曽郡王滝村2830-1

TEL 0264 (48)2008

FAX 0264(48)3033

たいいせつな



地域のつながい

どんぐり広場といきいきサロンの交流会のようす（R2.11）。新型コロナウイルスの影響で、さまざまな事業の実施を制限された令和2年度。改めて地域のつながりや社協の役割について考えさせられた一年となりました。

令和2年度事業報告・・・2～4p

令和2年度収支決算・・・5～6p

役員・委員等の改選・・・7p



デイサービスの利用者の作品

令和2年度おもな事業の報告

元気に外で水遊び！
新型コロナウイルスの影響で、昨年3月から5月までお休みしたとんぐり広場。ちびっこ仲間たちとの楽しいふれあいの場です。



「身近でできる」ボランティア

ボランティア講座では、感染症の広まる中で、在宅でもできる活動を皆で一緒に考えました。

～令和2年度監査意見よい①～

◇地域づくりと社協の果たす役割

社協においては多岐にわたる福祉サービスが展開されているが、地域づくりの担い手として村民のふれあいや地域のつながりをつくる重要な役割を果たしているものと評価できる。事業計画に掲げる基本目標を再確認し、引き続き、地域住民の福祉向上のために寄与されたい。

地域支え合い活動の促進

地区サロンと情報交換会

10月9日 上条地区サロン 参加者11名
出張介護教室他 ※啓発月間開催



◇地域福祉サービス

	実施回数	利用者	延利用回数(前年度比)
1 どんぐり広場	10回	7組8名	60回 (+11回) ※新型コロナ感染予防のため休止(R2.3～5月)
2 ミニ児童館	209回	22名	486回 (+170回) ※ 閉所 (R2.3/9～5/22)
3 ふれあい元気づくり教室	12回	20名	122回 (△10名)
4 お楽しみ弁当	14回	41名	490回 (△46名)
5 ごたくらぶ	12回	7名	37回 (+2名)
6 会食会	- 回	- 名	- (- 名) ※新型コロナ感染予防のため中止
7 障がい者希望の旅	- 回	- 名	- (- 名) ※ //
8 障がい者交流会	1回	3名	- (△1名)
9 金銭管理・財産保全サービス	- 回	- 名	- 回 (- 回)

◇生活資金貸付事業



1. 暮らし資金（独自事業）

貸付件数/残高 2件 (540,000円)

☆新規貸付 1件 ☆償還終了 1件

2. 生活福祉資金（県社協受託）

新型コロナ特例貸付（緊急小口資金）

☆新規貸付 1件 (200,000円)

☆感染症対策と新たな事業展開

令和2年度は、新型コロナへの対応に悩まされ続けた一年となりました。地域福祉サービスでは、感染状況を見ながら事業内容を変更したり、一部では休止を余儀なくされた事業もありました。ビデオの活用など、新たな実施形態も取り入れた事業展開を図って来ましたが、食事等を交えた「つどいの場」のあり方が課題となっています。



高齢でも生きがいをもって！
デイサービスで作品づくりに励むおばあちゃん。今年でめでたく、満百歳を迎えられました。



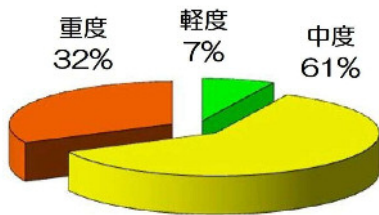
◇介護保険(障害福祉)サービス

	営業日	利用者	延利用回数
1 居宅介護支援事業	243日	38名 ◎新規 9名	320回
2 通所介護(デイサービス)	257日	26名 ◎新規12名	1,660回
3 訪問介護(ホームヘルプ)	308日	12名 ◎新規 4名	1,622回
4 障がい者ホームヘルプ	308日	- 名	- 回
移動支援サービス		1名	50回

<居宅介護支援事業>

介護状態別ケアプラン作成状況(延件数)

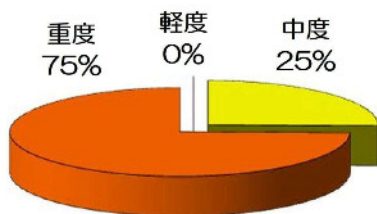
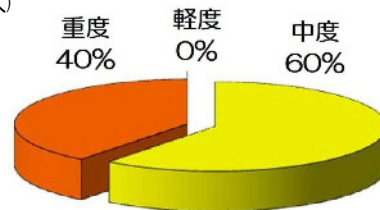
	2年度	元年度	増減
軽度	23件	25件	△2件
中度	194件	200件	△6件
重度	103件	140件	△37件
合計	320件	365件	△45件



<デイサービス>

介護状態別利用状況(延人数) ◎1日平均利用者 6.5人(△3.6人)

	2年度	元年度	増減
軽度	- 人	- 人	- 人
中度	1,004人	1,326人	△322人
重度	656人	1,275人	△619人
合計	1,660人	2,601人	△941人



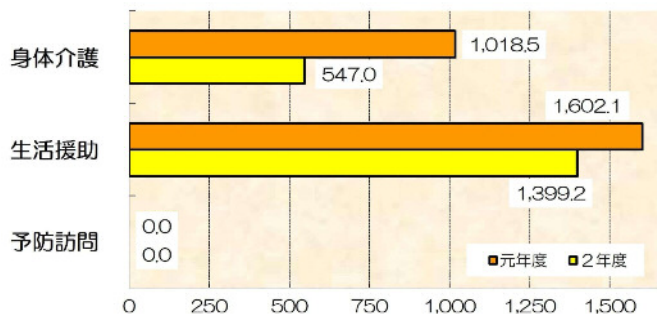
<ホームヘルプサービス>

介護状態別利用状況(延回数)

	2年度	元年度	増減
軽度	- 回	- 回	- 回
中度	411回	1,152回	△741回
重度	1,211回	1,400回	△189回
合計	1,622回	2,552回	△930回

◎延訪問時間 1,946H (前年度比△675H)

※1回当り訪問時間(平均) 72分 (前年度比116%)



☆介護サービスの利用状況が大幅に悪化

訪問サービスでは、利用回数が月平均△78回(△36%)と大幅に減少。デイサービスでは、昨年4月より利用定員を10人に減員しましたが、利用回数が月平均△78回(△36%)と大幅に減少し、1日平均利用者も6.5人まで落ち込みました。

前年度は新規利用者が増加した一方で、年度中に利用終了された方も多く、利用期間の短期化や、独居世帯の方を中心に施設入所が早期化する傾向が強まっており、事業経営にも深刻な影響が出ています。

今後の地域における、住民サービスとしての介護サービスの継続や確保のあり方の検討が喫緊の課題となっています。

<障がい者ホームヘルプ> ※移動支援サービスのみ

	2年度	元年度	増減
◎延訪問回数	50回	50回	±0回
◎延訪問時間	104.0H	88.0H	+16.0H



◇介護予防・生活支援事業

★生活維持に必要なサービスの提供

新型コロナの感染予防により、さまざまな事業の継続が難しい判断を迫られた一年となりましたが、介護サービスや生活支援サービスなどの生活維持に必要なサービスは、変わりなく提供を続けさせていただきました。施設入所等による介護サービス利用者減少と連動して、生活支援サービスにおいても利用者減少の傾向が見られましたが、配食サービスで月平均269食、外出支援サービスで月平均87回と多くのご利用をいただいています。

	実施回数 (日数)	利用者	延利用回数(前年度比)
1 いきいきサロン	12回	8名	81回 (△9回)
2 配食サービス	486回	25名	3,222回 (△403回)
3 生活支援訪問サービス	94日	23名	149回 (+50回)
① 介護予防ホームヘルプ	-	- 名	- 回 (- 回)
② 生活支援ホームヘルプ	-	23名	149回 (+50回)
4 介護教室	5回	51名	70回 (+16回)
5 介護者リフレッシュ	4回	16名	20回 (△5回)
6 外出支援サービス	234日	34名	1,044回 (△266回)
7 ひとり暮らしよらまい会	4回	21名	64回 (△3回)
8 心配ごと相談所	15回	-	14回 (+6回)



◇生活支援ハウス運営事業

入居者3世帯4名(365日 24時間営業)

☆新規入居 - 世帯(- 名) ☆退所 2世帯(3名)

最期まで自分らしく! ~「人生会議」って何?

王寿会と共催の介護教室では、「人生会議」をテーマに、自分らしい幸せな老後あり方についてともに考えました。

いきいきサロンでは、草木染めでおしゃれな巾着づくりに挑戦。



R2生活支援ネットワーク事業

(1) 生活支援ネットワーク会議(運営委員14名)

6月30日...令和2年度推進計画他

(2) 地域支え合い推進会議(推進委員24名)

第1回 6月30日...令和2年度推進目標他

第2回 3月23日...実施状況と次年度の取組み

☆専門委員会 計4回開催

① 生活支援と見守り活動 ② 居場所づくり&健康・生きがいづくり ③ 社会参加と就労支援

(3) 生活支援コーディネーター 1名(兼任)

(4) 体制整備に関する諸事業

① 地域支え合い研修&支援者養成講習

10月22日 参加者23名

『地域支え合い活動の現状とこれから』

~見つめ直そう「人と人とのつながり」~

☆支援者養成講座

『今こそチャレンジ! 身近でできる支え合い』

(第1回) 6月22日 参加者 6 名

(第2回) 8月20日 参加者 7 名

② ニーズ調査活動

生活支援ニーズの聞き取り調査他

③ 広報紙による情報周知

④ ボランティア活動支援&支援活動の需給調整

⑤ 遊休農地を活用した取り組み

景観整備花畑&王滝かぶづくり 参加者 延96人

R2認知症安心ネットワーク事業

(1) 認知症地域支援推進員 1名(兼任)

(2) 相談支援体制の整備

① 介護・認知症相談(年2回)

② 認知症に関する情報提供

③ 介護サービス利用者家族会の開催(年2回)

(3) 支援関係者と地域の支援ネットワークづくり

(4) 介護職員の資質向上、及び在宅介護の相談支援の充実

令和2年度一般会計決算

“介護保険事業で非常に厳しい経営状況”

歳入合計 72,284,192円
歳出合計 72,354,192円
差引残高 △70,000円

～令和2年度監査意見よい②～

◇介護保険事業の収支状況と事業継続

介護保険事業収入は10年前のピーク時と比較し△2,600万円と半減近くまで落ち込み、積立資産からの取崩額が大幅に増加しています。現状のままの見込額で推移すると、7,700万円程度の地域福祉基金まで取崩充当しても、数年後には介護保険事業の事業継続が困難な状況になります。

通所介護及び訪問介護では、事業収入がピーク時の5割以下まで縮小。介護保険事業では、運営補填のための繰入額が歳出決算の20%を占める状況となっており、今後の事業継続が危ぶまれる状況となっています。

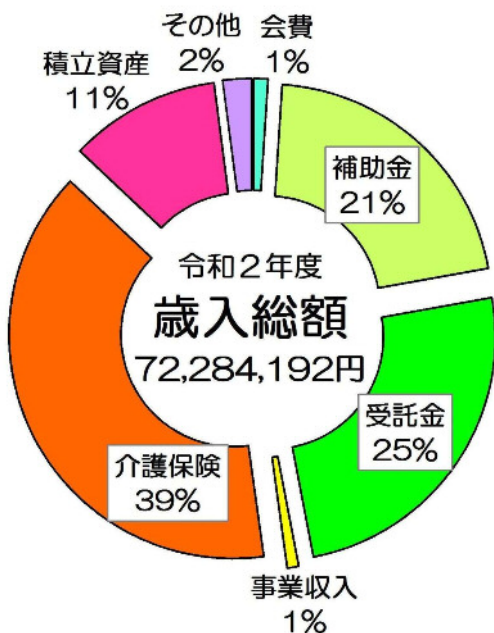
一方、歳入面では、介護保険事業収入が、前年度比△744万円(△21%)と大幅に減少。運営補填のための積立資産からの取崩額は、人件費等の抑制の状況に関わらず、七八七万円(前年度比+66%)と大幅に増加し、非常に厳しい経営状況となっています。

令和2年度の歳出総額は、新型コロナウイルス感染症対策に係る県の補助事業等の費用を除くと、実質的には前年度比△422万円(△6%)の減額決算となりました。



歳入

(単位：円)



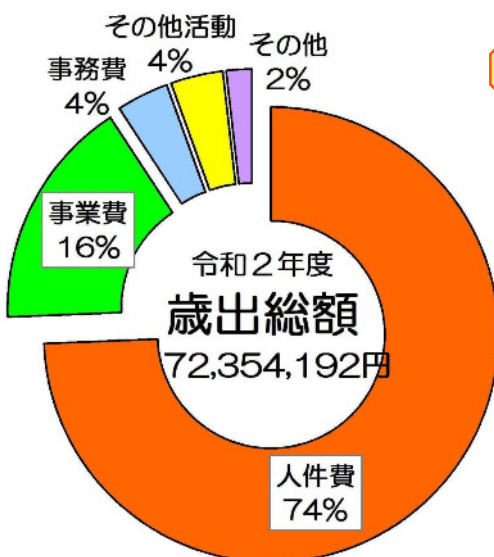
	決算額	前年度決算額	増減
1 会費	738,000	741,000	△3,000
2 寄附金	150,000	70,503	79,497
3 補助金	15,286,279	14,000,865	1,285,414
4 受託金	17,941,731	18,363,917	△422,186
5 貸付事業収入	230,000	200,000	30,000
6 事業収入	589,200	799,500	△210,300
7 介護保険事業収入	28,366,388	35,801,754	△7,435,366
8 障害サービス収入	296,800	128,200	168,600
9 施設整備等補助金	597,520	0	597,520
10 基金・積立金取崩	7,873,848	4,299,408	3,594,440
11 前期繰越金	200,000	200,000	0
12 その他	14,426	15,698	△1,272
合計	72,284,192	74,600,845	△2,316,653

※「補助金」は共同募金配分金収入(509,799円)、及び県緊急包括支援事業補助金(「施設整備等補助金」と合わせ1,637,000円)を含む。

※「事業収入」は介護保険事業、受託事業以外の利用料等の収入。

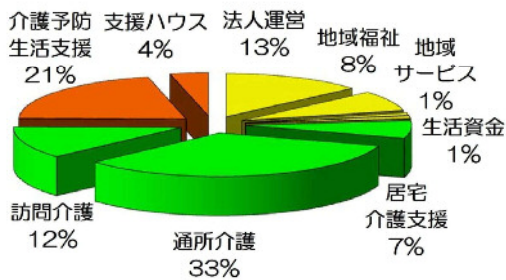
歳出

(単位：円)



	決算額	前年度決算額	増減
1 人件費	53,802,138	56,596,938	△2,794,800
2 事業費	11,869,453	11,508,524	360,929
3 事務費	2,687,771	2,995,400	△307,629
4 貸付支出	500,000	160,000	340,000
5 固定資産取得支出	597,520	0	597,520
6 その他の活動支出	2,685,298	2,972,468	△287,170
7 基金・積立金積立	150,012	70,515	79,497
8 その他	62,000	57,000	5,000
合計	72,354,192	74,360,845	△2,006,653

※「その他の活動支出」は退職給付引当資産等の支出。



= 各サービス区分のおもな事業 =

◇地域福祉推進事業 * 計6事業

①地域福祉推進事業 ②ボランティアの育成・支援
③福祉教育の推進 ④調査広報事業 ⑤社会福祉大会 ⑥福祉活動の促進・支援等

◇地域福祉サービス * 計7事業

①どんぐり広場/ミニ児童館 ②会食会他 ③ふれあい元気づくり教室 ④お楽しみ弁当 ⑤ごたくらぶ
⑥障がい者希望の旅 ⑦障がい者の交流促進等
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計237,100円 (対事業費 39%)

◇介護予防・生活支援事業 計9事業

①いきいきサロン ②配食サービス ③生活支援訪問サービス ④介護教室 ⑤介護者リフレッシュ事業
⑥外出支援サービス ⑦心配ごと相談所
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計1,501,950円 (対事業費 72%)

⑧生活支援ネット事業 ⑨認知症安心ネット事業

※「*」の事業の内、計10事業に会員の皆さまの年会費を充当しています。「◎」の事業は、共同募金配分金事業です。(計5事業)

事業別歳出決算額の内訳

(単位: 円)

拠点/サービス区分	決算額	前年度決算額	増減
1 法人・地域福祉活動	16,838,915	16,335,739	503,176
1 法人運営事業	9,852,854	9,921,720	△68,866
2 地域福祉推進事業	5,511,895	5,410,543	101,352
3 地域福祉サービス	707,154	805,464	△98,310
4 生活資金貸付事業	767,012	198,012	569,000
2 介護保険サービス	37,613,346	39,399,889	△1,786,543
1 居宅介護支援事業	4,753,420	4,071,402	682,018
2 通所介護事業	24,207,478	25,589,439	△1,381,961
3 訪問介護事業	8,652,448	9,739,048	△1,086,600
3 介護予防・日常生活支援事業 (受託事業)	17,901,931	18,625,217	△723,286
1 介護予防・生活支援事業	15,236,031	15,940,817	△704,786
2 生活支援ハウス運営事業	2,665,900	2,684,400	△18,500
合計	72,354,192	74,360,845	△2,006,653



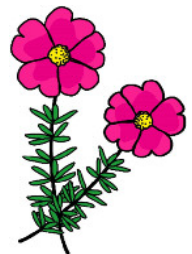
※ 法人運営事業は、基金組入額(150,000円)を含む。

※ 新型コロナウイルス感染症に関連し、生活資金貸付事業は特例貸付事務委託費(230,000円)、介護保険サービスは感染対策に係る県補助事業費(1,644,447円)を含む。

介護保険事業の収支

(単位: 円)

	居宅介護支援	通所介護	訪問介護	合 計
歳出決算額 a	4,753,420	24,207,478	8,652,448	37,613,346
介護保険事業収入 b	4,117,380	17,749,290	6,796,518	28,663,188
その他の収入 c	331,000	579,000	727,000	1,637,000
差引過不足額 (b+c)-a	△305,040	△5,879,188	△1,128,930	△7,313,158
(他事業繰出/繰入金)	△305,040	△5,879,188	△1,128,930	△7,313,158
(次年度繰越金)	0	0	0	0



※「介護保険事業収入」は、障害福祉サービス収入を含む。内、利用者の皆さまの利用料 計3,585,562円 (対事業費 66%)

※「その他の収入」は、県緊急包括支援事業補助金(新型コロナ対策)。

R2 基金・積立金の状況

R3.3.31現在

(単位: 円)

地域福祉基金 ※地方交付税財源	積立額	0	
	取崩額	0	
	残高	77,739,000	◎果実運用(社会福祉事業へ)
福祉基金 ※寄附金等財源	積立額	150,000	一般寄附金積立額
	取崩額	0	
	残高	11,097,590	◎果実等運用(地域独自の福祉サービスへ)
法人安定化積立金	積立額	0	
	取崩額	△7,873,848	運営補填取崩額(4事業)
	残高	3,036,345	◎基盤整備、介護保険経営補填準備金
固定資産積立金	積立額	0	
	取崩額	0	
	残高	14,136,447	◎消耗資産の更新準備金(8件)
暮らし資金積立金	積立額	12	預金利息積立額
	取崩額	0	
	残高	1,499,861	◎生活資金貸付事業原資



※ 令和2年度は、事業財源の不足による運営補填のために、法人安定化積立金より法人運営事業へ560,690円、介護保険事業へ7,313,158円(3事業)を取り崩し充当しました。(取崩当初予算 4,202千円)

※ 法人安定化積立金は、基幹的な人件体制整備のための人件費財源の確保、及び介護保険事業が赤字決算の場合の財源補填等を目的に積み立てています。

※ 固定資産積立金は、サービス運営に不可欠な車輦等の固定資産に関し、償却年数の古い資産から優先的に積立てています。

社協評議員&役員が改選

評議員

(定数 7～10名)

(任期：令和3年6月定時評議員会～令和7年6月定時評議員会)

堀内 征二 ～地域福祉関係／福祉団体（遺族会）
小谷 洋子 ～ // ／福祉団体（更生保護女性会）
大家 幸雄 ～ // ／当事者組織（王寿会）
細尾美智代 ～ // ／ボランティア団体（食の会）
栗空 敏之 ～関係機関／教育機関（教育委員会）
宮坂 寛 ～ // // （小中学校）
胡桃澤尚乃 ～ // ／その他（人権擁護委員）
吉田 広史（新任）～関連団体（商工会王滝支部）

理事

定数 6名

(任期：令和3年6月定時評議員会
～令和5年6月定時評議員会)

会長（理事長） 滝 和人 ～その他機関（保護司）
副会長（業務執行理事） 宮下 幸一 ～地域福祉関係（民児協会会長）
理事 下出 謙介 ～地方行政（村議会議長）
理事 田中 明弘 ～組織運営・財務運営経験
理事 大家八代美 ～地域福祉関係（支え合い推進委員）
理事 田中 明彦 ～福祉行政（村福祉健康課長）

◎理事は構成分野を考慮の上、事業経営に関する
識見や福祉に関する実情に通じている方を個人と
して選任いただいています。（役職は参考）

監事

藤沢 滋 ～社会福祉事業識見
南 直 ～財務管理識見

定数 2名

顧問

瀬戸 普（王滝村長）

任期満了に伴い、6月10日の選任委員会で評議員8名
が選任され、6月23日の定時評議員会で役員の改選が
行われました。また、今年度に入り、各種委員等の
改選も行われています。

各種委員が選任

= 評議員選任・解任委員 =

(任期：令和3年4月1日～令和7年3月31日)

松越 勝人 ～外部委員（福祉関係）◎委員長
橋本 悟志 ～外部委員（行政関係）
藤沢 滋 ～社協監事（学識経験者）
中嶋 素道 ～事務局員（社協事務局長）

= デイサービスセンター運営委員 = (6名以内)

(任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

◎前任者退任に伴う補充（残任期間）

市村美弥子 ～利用者＆家族代表
森 敏 ～福祉有識者（福祉行政＆介護経験）
鈴木 哲也 ～保険者（木曾広域連合）



福祉推進委員が改選

(任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

各地区と社協を結び橋渡し役として、社協会員
の募集等でご協力いただいています。

二子持 有村 幸子さん 上 条 浅川 みきさん（新任）
鞍馬 佐藤 和子さん 山口美智子さん
中越 中越 清美さん（新任） 杉野明日香さん（新任）
小山三都代さん 九 蔵 河口 富子さん（新任）
東 谷本優美子さん（新任） 野 口 正澤 順子さん
家高 宏奈さん（新任） 安田美栄子さん（新任）
下条 小谷 栄さん（新任） 滝 越 三浦恵美子さん
田近 美香さん（新任）

共同募金委員会役員改選

(任期：令和3年7月1日～令和5年6月30日)

= 運営委員 = (定数 7名)

会長 瀬戸 普 ～王滝村長
副会長 田中 明弘 ～組織・財務運営経験
滝 和人 ～保護司
宮下 幸一 ～民児協会会長
下出 謙介 ～村議会議長
大家八代美 ～地域支え合い推進委員
田中 明彦 ～村福祉健康課長

= 監事 = (定数 2名)

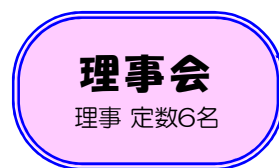
藤沢 滋 ～社会福祉事業識見
南 直 ～財務管理識見

= 審査委員 = (定数 5名)

大家 幸雄 ～王寿会（老人クラブ）会長
木島ゆき子（新任）～主任児童委員
胡桃澤尚乃 ～ボランティア活動
小山三都代（新任）～福祉推進委員
大家八代美（新任）～運営委員

◎業務執行の
意思決定機関

《社会福祉協議会の経営組織》



理事会

理事 定数6名

○役員の選任・解任

○委員の選任
○評議員候補者の推薦の提案
○評議員の解任の提案

会長

(理事長)

副会長

(業務執行理事)

事務局

職員 16名
(正規職員 7名
非常勤職員 9名)

○役員候補者の推薦の提案
○役員の解任の提案

評議員選任・解任委員会

委員 定数4名以内

(監事1名 事務局員1名
外部委員2名)

○評議員の選任・解任

評議員会

評議員 現員数8名
(定数 7～10名)

◎法人運営の基本ルール
及び重要事項の議決機関

◇令和2年度事業風景◇

文化を伝承したいと、じいちゃんたちがだんごの木づくり (R3.1)



ひとり暮らしよらい会では、映像を使って中山道へ小旅行 (R2.10)



夏休みボランティア体験で小学生が心をこめてお花の水やり (R2.8)

～令和2年度監査意見より③～

◇法人運営の現状

新型コロナウイルスへの対応や財政面などで厳しい状況ではあるが、限られた人材の中で事業運営及び法人運営への努力が認められる。村民にとってなくてはならない法人として、引き続き、必要な体制整備と安心できるサービス提供が図られるよう努められたい。

補助金交付額 1,637,000円

感染症対策サービス提供支援事業 3事業

在宅サービス事業所環境整備事業 3事業

実施内容

- (1) 施設及び車両の除菌&消毒器具等整備 (6件)
- (2) 利用者及びスタッフの感染予防のための器具等整備 (2件)
- (3) 施設内衛生管理のための器具等整備 (1件)
- (4) 利用者及びスタッフの衛生管理のための器具等整備 (1件)
- (5) 飛沫防止対策のための器具等整備 (4件)
- (6) ICTを活用したサービス提供&管理のための器具等整備 (4件)

新型コロナ感染対策

県緊急包括支援事業で備品等を整備

全国的に感染拡大を続け、いまだ終息の兆しを見せない新型コロナ感染症。利用者の皆さんに少しでも安心してサービスをご利用いただけるよう、令和2年度、介護サービス事業所等に対する長野県の緊急包括支援事業を活用し、施設や車両の除菌・消毒や飛沫防止対策など、感染防止対策のための備品を整備させていただきました。



窓付きパーティション(上)と大容量加湿器(右)



令和2年度寄付者ご芳名

(受付順)

たいせつに使わせて頂きます!

寄付金総額 150,000円

一般寄付金

個人 出口 つる 様

富井 聡美 様

／辻 正憲 様 (以上2名連名)

※ 昨年も、地域の皆さまから旬の野菜や山菜、お米や果物などの食材、手づくりのマスクや弁当袋、綿布や手芸用品など、たくさんの頂きものをお寄せいただきました。(計95件) いつもありがとうございます。



新型コロナの影響による失業などで困窮される県民の皆さんに「食の助け合い」を行おうと、昨年6月、県内のフードバンク事業関連団体が共同で支援食糧を緊急募集。社協でも受付けを行ない、王滝からは189Kgの食糧が寄贈されました。